

石垣市野底における絶滅危惧種ウミショウブの再生

プロジェクト概要

- 石垣島野底に生息する**ウミショウブ**（絶滅危惧種）は、近年ウミガメの食害等により、**絶滅の危機**に瀕しています。
- 食害を防ぐ防護柵や障害物を設置することで、ウミショウブの再生に取り組んでいます。
- **保護柵内では、無事ウミショウブの再生が確認**されました。今後は、更なる再生エリア拡大を目指します。

プロジェクトの特徴・PR

- ✓ 過去、ウミショウブ藻場は **CO2吸収源としての役割だけでなく、水質浄化機能、減波による減災効果、海底の地形保全効果**などの役割を有していました。本プロジェクトでは、このような重要な役割を果たす藻場再生の実現を目指しています。
- ✓ 設置した保護柵の外では海草が消失し砂漠のような光景が広がりますが、保護柵内では海草が再生し、**多くの海洋生物も観察**することができました。CO2吸収だけでなく、**生物多様性の保全**にとっても、「海のゆりかご」と呼ばれる藻場は大切な存在であることをモニタリングにて再確認しました。
- ✓ また、本取組みは野底小学校とともに保全活動を実施しており、地域における人と自然との関わり方を次世代に伝えていくことにも貢献していきたいと考えています。

<設置した保護柵内でウミショウブの再生に成功>



<藻場が再生した保護柵内では様々な海洋生物を確認>



<野底小学校とともに環境教育・保全活動に取り組む>

